米谷印刷工業　クールジャパンの波に乗り「萌えキャラ」市場に着手

「大阪もえしょくプロジェクト」を開始へ　今の柱がある間に第二次創業の足場固め

今年9月に創業60周年を迎える米谷印刷工業（大阪市淀川区、米谷一俊社長）では、「お客様のブランド作りのお手伝い」をコンセプトに掲げ、「大阪もえしょくプロジェクト」を1月より開始。地域にあまり知られていない名産物や職人化という手法でキャラクター化することで注目度を上げている。

このほど全国的にPRすることによって、販売促進・集客における新規顧客・新規市場の開拓をサポートする体制を整えた。

大小を問わずあらゆる印刷を

同社は、昭和29年に現会長の米谷正一氏が活版印刷を主事業とする米谷印刷所を大阪市浪速区で創業して以来、「誠意」をモットーに「徳して得とれ」の精神を持って設備進化による技術革新を繰り返し、時代の変化に対応しながら業務を拡大し続けてきた。

創業当時から約50年間は学習参考書の印刷が中心で、上位5社で売上の大半を占めるといった依存度の高い体質があった。

そんな同社に大きな転機が訪れたのは、創業50周年を迎えた平成16年に米谷一俊氏が代表取締役社長に就任し、翌年7月に第2次創業と位置付けて「プリントショップ部門」を立ち上げたことが挙げられる。

同社では、印刷・製本部門において多品種・小ロットから大ロットの印刷物の加工まで対応できる設備を揃え、制作部門ではデザイン・編集までの一貫体制を構築。そのうえで、積極的に小ロットの受注を獲得することを決め、社屋の壁面に電車から見えるように「大小を問わず、あらゆる印刷物を受けます。お電話下さい」との看板を貼り出すなど、新規ユーザーの獲得に本腰を入れた。

平成16年に積極的に受注展開を開始するために壁面に看板を貼り出した

「学参が中心であったため、景気に左右されることなく今日まで事業を進めてこられたのは運が良かったのでしょうね。

しかし、誰もが予測できないほど時代が変わってきたことから、今の柱がある間に次の展開を進めることが必要と考え、プリントショップ部門を立ち上げ、印刷に関する全ての要望に応えられるようにしました」と米谷社長は当時の様子を振り返る。

同年11月からはハミ・ペーパーナイフなどの刃物を使わず、綺麗に開封できるオリジナル封筒「ゆめ～る封筒」の製造・販売も開始。

同製品は、開封矢印の点字加工によって視覚障がい者の人でも手でなぞれば開封位置が確認できるもの。開封矢印を口で挟んで引き上げても開封できるなど、人に優しいユニバーサルデザインで設計されている点が市場から高い評価を得ており、最近では便利グッズとしてテレビ番組でも紹介されている。

同社にとっては、「ゆめ～る封筒」を市場に投入したことは、営業活動で新規開拓の大きな武器となり、今日までに顧客数を50倍以上に伸ばす好結果を生み出している。

「大阪もえしょくプロジェクト」に期待を込める米谷社長（左）と松尾取締役営業本部長

ブランド商品の開発で差別化

「御用聞き営業のままではお客様から魅力的な会社とは思われないとの危機感を持ち、新しい分野にチャレンジすることを決め、他社との差別化を図りたいと考え、『ゆめ～る封筒』を当社のブランドにしたところ大きな反響を得ることができました。

封筒でオリジナル商品を販売することができたため、どこにでも営業に行けるようになった結果、お客様の数も増え、『ゆめ～る封筒』から他の印刷物も受注できるケースも増えました」と米谷社長は述べている。

「ゆめ～る封筒」の製造・販売から小ロットの商材を拾い集めることで事業領域の拡大に成功したが、米谷社長は「『ゆめ～る封筒』はまだまだ知られていません。知ってもらえれば使っていただけるケースも増えており、潜在ニーズはあります」と示したうえで、「大企業では広告宣伝費をかけて拡販ができますが、中小企業はコストをかけずにPRしなければならないといった課題がある」と語る。

そうした課題をクリアする一環として同社では、「大阪もえしょくプロジェクト」に参加することを決め、1月から「大阪の名産、銘菓、職人を全国に！大阪擬人化計画！大阪もえしょくプロジェクト」に取り組んでいる。

このプロジェクトでは、各地域であまり知られていない食・物・名産・物産・企業など、あらゆるものを擬人化という手法でキャラクター化することで注目を上げて全国、そして世界にアピールするもの。

キャラクターは全国公募システムより、独自のキャラクター原案（意匠）を誕生させ、そこから各企業が好きなキャラクターを選べるシステムとなっている。

誕生したキャラクターは、自社の営業マンとなり、24時間・365日休むことなく営業活動を行う。

ゆめ～る封筒のキャラクター

現在、同社では「ゆめ～る封筒」の擬人化におけるキャラクターの募集を行っている。

「5年以内に新しい事業を立ち上げたいと考えていた時にこのプロジェクトがあることを知り、将来性を見込んで採用を即決しました。昨年は、ゆるキャラブームで全国各地の自治体が作っていましたが、今年からは政府のクールジャパンも後押しして、萌えキャラが1社1キャラの時代に突入する時代ではないかと考えています。萌えキャラは、いろいろな利用価値があり、アイデア次第では無限の可能性を秘めているものです」と米谷社長は示す。

実際に、日本の萌えキャラは世界中から注目されるデザインであり、変化させやすく、キャラクターを進化させやすいのが特徴となっており、愛情をかければかけるほど、共感者・応援者が現れるものと期待されている。

すでに、このプロジェクトでは「商品は良いのに売れ行きが」「ネット販売がうまく行かない」「商品にインパクトやイメージがほしい」「伝統がある新たな販売ルートを確保したい」といった企業で採用され、効果を発揮しているという。

同社でも「ゆめ～る封筒」の一層のブランド力を高めるためにプロジェクトで誕生したキャラクターを活用することを決めている。

「萌えキャラ＝オタクの世界ではなくなり、萌えキャラ＝トップセールスマン、グローバルとなってきました。擬人ですから不祥事を起こす心配もなく、24時間365日、文句を言わずに働いてくれます。萌えキャラを作ることによってマーケットが広がることをお客様に紹介し、既存ユーザーや新規の需要を掘り起こしていきます」と米谷社長は語っている。

近年では、交通安全ポスターや人材募集でも萌えキャラが使用され、イメージアップを図っているほか、パッケージでも可愛い萌えキャラが使用されたことによって、お土産物として拡販につなげている例もある。

同社の松尾修三取締役営業本部長は「『ゆめ～る封筒』に加えて営業としては大きな武器が用意できたと自負しています。お客様に対して、『萌えキャラで商品のブランド力を高めませんか』という提案ができますので、今後はターゲットを決めて飛び込み営業もしていきます」と語っている。

また、米谷社長は「萌えキャラは完全にブームになっており、クールジャパンも追い風となっています。当社でも自社商品を萌えキャラを使って販売していきます。今年は創業60周年を迎えますが、これらの動きを第2次創業の足場固めにしていきます」と決意を新たにしている。

同社では1月からスタートさせた「大阪もえしょくプロジェクト」ではあるが、すでに数社との契約を結んだという。

WEB-YoNETでPR効果拡大

さらに、同社では昨年8月にインターネットコンサルティングをはじめ、SEO対策、ホームページ・Facebookページ制作、スマートフォンサイト制作、Youtube制作編集を行う事業部として「WEB－YoNET」を立ち上げた。

米谷社長が「大阪もえしょくプロジェクト」の採用を即決した背景には「WEB－YoNET」が立ち上がっていたことも要因のひとつとしてある。

同社では、一般ユーザーに対して「もえしょくプロジェクト」で誕生した萌えキャラをWEBサイトで披露し、オリジナル商品の「ゆめ～る封筒」の販売まで手掛けていくことを視野に入れている。

「萌えキャラから印刷物につなげ、WEBにつなげて知名度を高めることによって、社用封筒から『ゆめ～る封筒』に変えてほしいですね」と松尾取締役営業本部長は語っている。

現在、「WEB－YoNET」では顧客のホームページ制作はもとより、SEO対策についても万全の体制を整え、動画でのSEO対策、コンテンツ制作などを低価格で行っている。

「これからの時代は印刷が先ではなく、プランニングが先です。私がやっていることは、決して新しいことでも、突拍子のないことでもありません。業界で言われていることを愚直に行っているだけです」と語る米谷社長の視線はすでに将来の印刷業界のあるべき姿を追求し続けている。

プライバシーマーク
プライバシーマークを取得しました
A190544(01)
お客様から信頼されるパートナーとなるべく、
個人情報の適正な管理を行い、社会の信頼に応えます。
ISO14001 認証取得
お客様に満足していただける製品のご提供を通じ、
リサイクル問題・環境問題等の
解決のお手伝いをさせていただきます。
螢印刷株式会社
〒551-0021 大阪市大正区南恩加島4丁目4番77号
TEL.06-6555-1900(代) FAX.06-6555-3200
http://www.hotaru-printing.com

針金荷札・ゴムひもタグ
荷札屋本舗
検索 荷札屋本舗

決断の時！
●財務管理 ●税務情報 ●生保損保情報
●相続相談 ●贈与相談 ●事業承継
セカンドオピニオンの時代です。何かありましたら、いつもの人にだけでなく、複数の人に相談するほうが、より多くの情報、確かな信念を得られます。いつでもお気軽に声を掛けてください。
慶福税理士法人・有限会社ウイル情報サービス
〒570-0072大阪府守口市早苗町6番7号新栄早苗ビル3F
TEL.06-4250-5881 FAX.06-4250-5882
メールアドレス will@tkenf.or.jp
正しい判断を下す為には、正確な情報と、未来への意志が必要です。